



絵：住友真大(スペースまどか)

スポット

- ・令和元年度事業計画
- ・平成30年度事業報告
- ・研修報告
- ・職場紹介 瑞穂町福祉作業所
- ・新人紹介

第77号 二〇一九年九月十一日発行
 発行／編集 社会福祉法人 あかつきコロニー
 〒二〇八〇〇三三 東京都武蔵村山市伊奈平一六四一
 ☎〇四二一五六〇七八四〇
<http://www.akatuki.or.jp> Email:soumu@akatuki.or.jp

令和元年度事業計画

【はじめに】

昨年、当法人は創立50周年を迎えることができた。当時、経済的自立の機会を奪われていた結核回復者が、自ら働く場を切り拓くために設立したのが、あかつきコロナーだった。この間、無事当法人が有り続ける事が出来たのも、先人の努力の賜物であり、長きに渡り法人を支えて下さった関係者の方々のお陰である。設立当初から働くことを通じて障がい者の自立を目指してきたその姿勢は今後も変わらない。一方で、社会情勢も大きく変わり、私達に求められる期待や役割は、より大きくなっていく。少子高齢化、人口減少により社会を維持していく上で一層、個々の自立が求められてきている。その自立を支える役割を社会福祉法人に期待されている一方で、社会福祉法人自体の自立も求められており、法人自

体の体力強化が課題である。この先も法人創設時の意思を受け継ぎながら、時代やニーズに合わせた事業継続と地域福祉の発展に貢献していけるよう、尽力する。

【福祉事業活動】

施設経営面では就労移行支援セルプあかつき、就労継続支援B型あかつき授産所において利用率の向上を、就労継続支援B型スペース・まどかにおいて利用率の維持安定を図る。

虐待防止マネジャー委員会及び虐待防止委員会を開催し、各現場での日々の支援の中で職員による虐待の予防、虐待を見逃さない体制を浸透させ、利用者が安心して利用できる施設を目指す。建替えに必要な積立資金を確保するため、各事業所にて収入を増やしていく取り組みを行う。

【就労支援事業活動】

印刷事業は従来の紙媒体の印刷事業については引き続き縮小を進め、Tシャツプリント事業を拡大し、軌道に乗せていく。

オイルエレメント事業は納品管理を徹底し、引き続き取引先から信頼が得られるよう取り組む。ウエス事業は作業の効率化や経費削減をはかることで収益を出せるように努力する。また、統括営業部と連携し納期調整を行い、受注量を確保する。

まどか作業部門は、ここ数年の好調を維持し、更なる工賃向上に取り組む。

武蔵村山市との委託契約による紙おむつ給付事業は就労訓練としても非常に有効な事業である。これについても引き続き取り組む。

瑞穂町福祉作業所に於いては工賃向上を目指し、既存の箱折の他に新規作業開拓、とりわけ、自主製品の開拓に取り組んでいく。

就労支援事業に於いてはその最大の目標は利用者工賃の向上である。その実現には作業量の確保は勿論のこと、利用者にとって

のやりがいや意欲を支えることも重要である。利用者の可能性を見つけ伸ばしていく事も大切な支援のひとつであり、その視点をしっかりと持ち、工夫を怠らないよう職員は取り組んでいく。

【地域福祉】

瑞穂町との指定管理契約のもと、運営開始から10年目となった就労継続支援B型瑞穂町福祉作業所では、就労支援事業以外に社会参加の機会を増やし、創作活動の充実を図る。同じく運営開始から4年目に入る瑞穂町心身障害者（児）福祉センターあゆみは、障がい児や介助を伴う重度障がい者の支援に取り組んでいる。これまでタイムケアに於いて学校の平日休校に対応した開所時間の設定や個別支援計画の作成など、新たなサービスを導入してきており、引き続き事業の充実を目指し、支援の向上を図っていく。

あかつきコロナー相談支援センターは、個々の計画相談に係る支援内容の更なる充実を目指し、地域の福祉サービス利用者のニーズに応えられるよう、地域、関係

機関と連携し、その機能を果たしていく。

今年度も引き続き武蔵村山市障害者就労支援センターと、瑞穂町障害者就労支援センターをそれぞれの自治体と受託契約を結び実施する。今後とも益々増えていくであろう障がい者の就労に対する支援ニーズに応えるため、就職実績を重ねると同時に、仕事を継続していくための定着支援、生活支援にも力を入れて、障がい者が安定して働いていけるよう努力していく。

地域の障がい者福祉の向上に尽力していく。障害支援区分審査会への委員派遣、自立支援協議会への委員の派遣を継続するとともに、自立支援協議会の各部会にも積極的に関わっていく。また地域の福祉作業所や関係団体と連携をはかりネットワーク化を推進し、地域の障がい者・児の生活がより豊かとなるよう福祉サービスの充実を図っていく。また、引き続き地域子供交流会、生活困窮者等の就労準備支援を実施し地域に貢献する。

2019（令和元）年度あかつきコロニー予算書

自2019年（平成31年）4月1日 至2020年（令和2年）3月31日

法人全体

（単位：千円）

勘 定 科 目			本年度予算	前年度予算	差異
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	99,660	100,220	△ 560
		障害福祉サービス等事業収入	324,059	315,198	8,861
		生活保護事業収入	400	350	50
		その他事業収入	900	120	780
		借入金利息補助金収入	29	35	△ 6
		経常経費寄附金収入	270	320	△ 50
		受取利息配当金収入	5	20	△ 15
		その他の収入	993	1,025	△ 32
		事業活動収入計（１）	426,316	417,288	9,028
	支出	人件費支出	263,238	253,236	10,002
		事業費支出	30,563	30,048	515
		事務費支出	25,394	27,416	△ 2,022
		就労支援事業支出	99,660	98,720	940
		支払利息支出	34	42	△ 8
		その他の支出	200	300	△ 100
事業活動支出計（２）		419,089	409,762	9,327	
事業活動資金収支差額（３）＝（１）－（２）		7,227	7,526	△ 299	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	146	△ 146
		設備資金借入金収入	0	0	0
		その他の施設整備等による収入	0	0	0
		施設整備等収入計（４）	0	146	△ 146
	支出	設備資金借入金元金償還支出	792	792	0
		固定資産取得支出	0	146	△ 146
		その他の施設整備等による支出	0	40	△ 40
		施設整備等支出計（５）	792	978	△ 186
	施設整備等資金収支差額（６）＝（４）－（５）		△ 792	△ 832	40
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	0	0	0
		拠点区分間繰入金収入	9,300	7,930	1,370
		サービス区分間繰入金収入	3,798	3,818	△ 20
		その他の活動による収入計（７）	13,098	11,748	1,350
	支出	積立資産支出	6,000	9,500	△ 3,500
		拠点区分間繰入金支出	9,300	7,930	1,370
		サービス区分間繰入金支出	3,798	3,818	△ 20
		その他の活動による支出計（８）	19,098	21,248	△ 2,150
	その他の活動資金収支差額（９）＝（７）－（８）		△ 6,000	△ 9,500	3,500
	予備費支出（10）		435	644	△ 209
当期資金収支差額合計（11）＝（３）＋（６）＋（９）－（10）		0	△ 3,450	3,450	

前期末支払資金残高（１２）	0	118,089	△ 118,089
当期末支払資金残高（１１）＋（１２）	0	114,639	△ 114,639

平成30年度事業報告

当年度は3年毎の障害福祉サービス等報酬の見直しによる報酬改定が行われた年であった。今回の改訂では各々の事業で求められる成果の実績に基づいて基本報酬単価が決定することになり、より支援の質に応じた評価設定になったと言える。

障がい者の法定雇用率が2・0%から2・2%へ引き上げられた一方で、中央省庁の障がい者雇用水増し問題が取り沙汰された。国は企業に対し障がい者雇用を推し進める一方で、身内での不正が見逃されてきた。何故このような事態が起こったのかを考えた時に、その裏に障がい者を雇用することに對するネガティブな本音が垣間見える。問題の根底には偏見や差別が潜んでいないか。法や制度を整備し、実行を促したところで己の足元が疎かになっただけでは説得力に欠ける。今後の国の対応に注目したい。

社会福祉法人、セルフあかつき、あかつき授産所、スペース・まどにおいて東京都の実地検査が行われた。社会福祉法が改正されてから初めての实地検査となった。改正法の下での法人及び施設運営のあり方について改めて確認の機会とすることができた。

当年度は、非常勤職員から正規従業員への転換が1名あった。これまでも非正規雇用から正規雇用への転換はあったが、一般公募からの応募により採用されたのは初めてだった。また、1名の職員が介護休業を取得した。介護休業の取得は法人でも初めてとなった。

【福祉事業活動】

就労移行支援事業を実施しているセルフあかつきに於いて、新たに就労移行支援から一般就労した利用者を対象とした就労定着支援事業を10月より開始。7

名の支援を実施した。

また、一般就職者数は、セルフあかつきから5名、スペース・まどから2名、あかつき授産所及び瑞穂町福祉作業所から各1名と、合計9名を出す事ができた。

福祉事業活動収支は、法人施設に於いては級地等級が上がった一方で報酬改定の影響も大きかった。法人の3つの就労継続支援B型の基本報酬単位は多少増えたものの、廃止された目標工賃達成加算を補うには至らず、また、定員数を基準とした就労実績による就労移行支援の基本報酬単価の設定は、定員を大きく下回るセルフあかつきにとっては大打撃となった。法人全体では当期事業活動増減差額が799万円、当期資金収支差額では82万円となった。修繕や建替えの為の積立資産として合計850万円を計上した。

人事考課制度により半年に一度、各職員と上位職員が個別面談を通して、業務上の課題や目標を確認した。

法人施設に於いては、合同でリスクマネジメント委員活動を行い、

リスク発生状況の把握とリスク対応について検討を行った。通所時の見守り支援を実施した。

虐待防止への取り組みとして、虐待防止チェックリストの活用や虐待防止マネジャーによる会議の実施、虐待防止委員会を開催した。東京都や東社協、地域自立支援協議会、一般社団法人ゼンコロ等主催の外部研修へも積極的に参加した。

【就労支援事業活動】

就労支援事業は、法人全体で事業活動増減差額が△90万円だった。内訳は、あかつき授産所が146万円、スペース・まどかが△90万円、瑞穂町福祉作業所が0・5万円、セルフあかつきが△146万円となった。

オイルエレメント事業を実施している作業部1課に於いては、ISO9001の2015年度版へ移行した。また、印刷事業に於いては前年度に引き続き事業の縮小を進めた。軽作業を主に行っている作業部3課では新たに洗濯作業を開始、売上げを大きく伸ばした。瑞穂町福祉作業所で

は新規事業として自主製品制作を立ち上げるための検討に入った。就労継続支援B型のあかつき授産所、スペース・まどかの2事業所に於いて利用者の平均工賃を上げることができた。

【地域福祉】

瑞穂町との指定管理契約のもと、心身障害者（児）福祉センターあゆみの運営を開始し3年が経過した。運営も落ち着き、従来の支援方針や運営内容を継続し信頼関係作りを継続しながら法人の特徴と方針に沿った取組みを行った。同じく瑞穂町との指定管理契約のもと運営している就労継続支援B型瑞穂町福祉作業所に於いては、運営開始より9年で初めて利用者を一般就労につなげることが出来た。

あかつきコロナ相談支援センターは開設して6年が経過した。緊急ケースや困難ケースへの対応が増える中、計画等の作成数は375件となり前年度並だった。内94件が障がい児だった。

武蔵村山市障害者就労支援センターとらいは3月末現在登録

者数が318名となり、就職者は53名で開設以来初めて50名を上回った。新規登録者は33名だった。とらい独自に2つの企業との面談会を実施し、雇用に繋げる事ができた。

瑞穂町障害者就労支援センターは、3月末現在の登録者は128名となり、就職者数は19名出すことができた。新規登録者は11名だった。職場開拓により4名の採用に繋がった。

地域の取り組みとして、地域の自立支援協議会とこれに付随する専門部会への職員派遣、武蔵村山市障害支援区分審査会（介護給付費等の支給に関する審査会）への職員派遣、各関係機関や団体との連絡会や会議への参画を通して地域のニーズや課題の共有を図り、地域福祉の向上に努めた。

また、公益的な取り組みとして、例年通り地域子ども交流会を実施した他に、瑞穂町にて生活困窮者等の相談支援の実施機関と連携し、当法人の障がい者就労支援の専門性を生かして生活困窮者等の就労準備の支援を開始した。

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	146,219,961	142,549,126	3,670,835	流動負債	36,719,249	34,053,326	2,665,923
現金預金	116,630,889	109,113,639	7,517,250	事業未払金	12,773,320	10,685,235	2,088,085
事業未収金	8,105,831	10,464,926	△ 2,359,095	その他の未払金	19,606,688	17,856,593	1,750,095
未収金	31,563,316	32,718,647	△ 1,155,331	1年以内返済予定設備資金借入金	792,000	792,000	
受取手形	548,192	448,031	100,161	未払費用	2,489,176	3,324,735	△ 835,559
商品・製品	1,002,496	983,661	18,835	預り金	28,801	25,376	3,425
原材料	2,400,238	1,696,219	704,019	職員預り金	3,695,067	114,333	3,580,734
立替金	561,592	1,350,326	△ 788,734	仮受金		4,459,107	△ 4,459,107
前払金		39,768	△ 39,768	賞与引当金	12,020,000	11,481,750	538,250
前払費用	63,210	184,902	△ 121,692	その他の流動負債	△ 14,685,803	△ 14,685,803	
仮払金	30,000	234,810	△ 204,810	固定負債	3,168,000	3,960,000	△ 792,000
その他の流動資産	△ 14,685,803	△ 14,685,803		設備資金借入金	3,168,000	3,960,000	△ 792,000
固定資産	261,372,329	260,007,848	1,364,481	負債の部合計	39,887,249	38,013,326	1,873,923
基本財産	208,738,244	213,259,787	△ 4,521,543				
土地	92,920,862	92,920,862		純 資 産 の 部			
建物	115,517,382	120,338,925	△ 4,821,543	基本金	156,178,608	156,178,608	
基本特定積立資産	300,000		300,000	基本金	156,178,608	156,178,608	
その他の固定資産	52,634,085	46,748,061	5,886,024	国庫補助金等特別積立金	115,011,490	119,838,917	△ 4,827,427
構築物	2	2		国庫補助金等特別積立金	115,011,490	119,838,917	△ 4,827,427
機械及び装置	1,296,121	2,673,866	△ 1,377,745	その他の積立金	46,791,748	38,291,748	8,500,000
車輛運搬具	5	8	△ 3	備品購入積立預金	9,000,000	7,000,000	2,000,000
器具及び備品	4,629,440	5,644,491	△ 1,015,051	修繕積立預金	16,745,000	13,245,000	3,500,000
権利	177,714	177,714		基本特定積立資産	300,000	300,000	
備品購入積立資産	10,184,337	8,184,337	2,000,000	その他の積立金	20,746,748	17,746,748	3,000,000
修繕積立資産	26,838,886	23,338,886	3,500,000				
人件費積立資産	2,468,525	2,468,525		次期繰越活動増減差額	49,723,195	50,234,375	△ 511,180
基本特定積立資産		300,000	△ 300,000	次期繰越活動増減差額	49,723,195	50,234,375	△ 511,180
施設整備積立資産	7,000,000	4,000,000	3,000,000	(うち当期活動増減差額)	7,988,820	5,532,830	2,455,990
長期前払費用	39,055	△ 39,768	78,823				
				純資産の部合計	367,705,041	364,543,648	3,161,393
資産の部合計	407,592,290	402,556,974	5,035,316	負債及び純資産の部合計	407,592,290	402,556,974	5,035,316

資金収支計算書

(自) 平成30年4月1日 (至) 平成31年3月31日

第1号の1様式
(単位:円)

勘 定 科 目			予 算	決 算	差 異
事業活動による収支	収 入	就労支援事業収入	100,220,000	99,253,948	966,052
		障害福祉サービス等事業収入	315,198,000	315,320,999	△122,999
		生活保護事業収入	350,000	228,230	61,770
		その他の事業収入	120,000	159,480	△39,480
		借入金利息補助金収入	35,000	35,307	△307
		経常経費寄附金収入	320,000	325,924	△5,924
		受取利息配当金収入	20,000	6,096	13,904
		その他の収入	1,025,000	951,973	73,027
		事業活動収入計(1)	417,288,000	416,341,957	946,043
	支 出	人件費支出	253,236,000	250,683,869	2,552,131
		事業費支出	30,048,000	28,260,771	1,787,229
		事務費支出	27,416,000	23,602,509	3,813,491
		就労支援事業支出	98,720,000	103,327,604	△4,607,604
		支払利息支出	42,000	41,691	309
		その他の支出	300,000	234,382	65,618
事業活動支出計(2)		409,762,000	406,150,826	3,611,174	
事業活動資金収支差額(3)=(1)－(2)		7,526,000	10,191,131	△2,665,131	
施設整備等による収支	収 入	施設整備等補助金収入	146,000	145,800	200
		施設整備等収入計(4)	146,000	145,800	200
	支 出	設備資金借入金元金償還支出	792,000	792,000	0
		固定資産取得支出	146,000	145,800	200
		その他の施設整備等による支出	40,000	78,823	△38,823
		施設整備等支出計(5)	978,000	1,016,623	△38,623
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)－(5)		△832,000	△870,823	38,823
その他の活動による収支	収 入				
		その他の活動収入計(7)			
	支 出	積立資産支出	9,500,000	8,500,000	1,000,000
		その他の活動支出計(8)	9,500,000	8,500,000	1,000,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)－(8)		△9,500,000	△8,500,000	△1,000,000
予備費支出(10)		644,000	—	644,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)－(10)		△3,450,000	820,308	△4,270,308	

前期末支払資金残高(12)		118,089,670	△118,089,670
当期末支払資金残高(11)+(12)	△3,450,000	118,909,978	△122,359,978

事業活動計算書

(自) 平成30年4月1日 (至) 平成31年3月31日

第2号の1様式
(単位: 円)

勘 定 科 目			当年度決算	前年度決算	増 減
サービス活動増減の部	収 益	就労支援事業収益	99,253,948	102,043,071	△2,789,123
		障害福祉サービス等事業収益	315,320,999	320,656,107	△5,335,108
		生活保護事業収益	288,230	568,710	△280,480
		その他の事業収益	159,480		159,480
		経常経費寄附金収益	325,924	234,596	91,328
		サービス活動収益計(1)	415,348,581	423,502,484	△8,153,903
	費 用	人件費	251,222,119	258,145,734	△6,923,615
		事業費	28,260,771	20,650,281	7,610,490
		事務費	23,602,509	30,406,018	△6,803,509
		就労支援事業費用	103,171,946	106,416,633	△3,244,687
		減価償却費	6,792,937	7,262,312	△469,375
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△4,973,227	△6,907,204	1,933,977
		サービス活動費用計(2)	408,077,055	415,973,774	△7,896,719
	サービス活動増減差額(3)=(1)－(2)		7,271,526	7,528,710	△257,184
サービス活動外増減の部	収 益	借入金利息補助金収益	35,307	41,679	△6,372
		受取利息配当金収益	6,096	5,622	474
		その他のサービス活動外収益	951,973	1,068,770	△116,797
		サービス活動外収益計(4)	993,376	1,116,071	△122,695
	費 用	支払利息	41,691	49,215	△7,524
		その他のサービス活動外費用	234,382	587,899	△353,517
		サービス活動外費用計(5)	276,073	637,114	△361,041
	サービス活動外増減差額(6)=(4)－(5)		717,303	478,957	238,346
経常増減差額(7)=(3)+(6)		7,988,829	△8,007,667	△18,838	
特別増減の部	収 益	施設整備等補助金収益	145,800		145,800
		固定資産売却益		69,999	△69,999
		特別収益計(8)	145,800	69,999	75,801
	費 用	固定資産売却損・処分損	9	2,452,023	△2,452,014
		国庫補助金等特別積立金取崩額	145,800		145,800
		その他の特別損失		92,813	△92,813
		特別費用計(9)	145,809	2,544,836	△2,399,027
	特別増減差額(10)=(8)－(9)		△9	△2,474,837	2,474,828
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		7,988,820	5,532,830	2,455,990
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		50,234,375	49,501,545	732,830
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		58,223,195	55,034,375	3,188,820
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)				
	その他の積立金積立額(16)		8,500,000	4,800,000	3,700,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)－(16)		49,723,195	50,234,375	△511,180

財 産 目 録						
平成 31 年 3 月 31 日 現在						
(単位：円)						
貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
Ⅰ 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		—	運転資金として	—	—	116,630,889
事業未収金		—	就労支援事業収入未収金	—	—	8,105,831
未収金		—	3 月分 訓練等給付費	—	—	31,563,316
受取手形		—	就労支援事業収入未収金	—	—	548,192
商品・製品		—	就労支援事業商品棚卸し	—	—	1,002,496
原材料		—	就労支援事業材料棚卸し	—	—	2,400,238
立替金		—	3 月分 水道光熱費 他	—	—	561,592
前払費用		—	保険料	—	—	63,210
仮払金		—	3 月分 諸経費	—	—	30,000
その他の流動資産		—		—	—	△ 14,685,803
流動資産合計						146,219,961
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	法人本部拠点 4		第二種社会福祉事業、公益事業に使用	92,920,862		92,920,862
建物	法人本部拠点 7、あかつき授産所拠点 1		第二種社会福祉事業、公益事業に使用	385,993,499	270,476,117	115,517,382
基本特定積立資産			基本財産として保有する	—	—	300,000
基本財産合計						208,738,244
(2) その他の固定資産						
構築物	避難用ブリッジ あかつき授産所拠点	—	第二種社会福祉事業であるあかつき授産所に使用	675,000	674,998	2
機械及び装置	四色機等 計 35 点	—	事業運営に使用	107,954,052	106,657,931	1,296,121
車輛運搬具	計 8 台	—	利用者送迎、就労支援事業用	9,860,124	9,860,119	5
器具及び備品	PC、空調設備等 計 62 点	—	事業運営に使用	24,600,624	19,971,184	4,629,440
権利	電話加入権	—	事業運営に使用	—	—	177,714
備品購入積立資産	りそな銀行 村山支店	—	器具・機械等の購入・交換の目的のための積立	—	—	10,184,337
修繕積立資産	りそな銀行 村山支店	—	器具・機械・建物等の修理・修繕の目的のための積立	—	—	26,838,886
人件費積立資産	多摩信用金庫 残堀支店	—	給与及び賃金等、職員処遇に必要な経費に充てるための積立	—	—	2,468,525
施設整備積立資産	りそな銀行 村山支店	—	将来における建物建替えの目的のための積立	—	—	7,000,000
長期前払費用		—	保険料	—	—	39,055
その他の固定資産合計						52,634,085
固定資産合計						261,372,329
資産合計						407,592,290
Ⅱ 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	3 月分 水道光熱費 他	—		—	—	12,773,320
その他の未払金	3 月分 水道光熱費 他	—		—	—	19,606,688
1 年以内返済予定設備資金借入金	独立行政法人 福祉医療機構	—		—	—	792,000
未払費用	3 月分 水道光熱費 他	—		—	—	2,489,176
預り金	3 月分 雇用保険料	—		—	—	28,801
職員預り金	3 月分 社会保険料 他	—		—	—	3,695,067
賞与引当金		—		—	—	12,020,000
その他の流動負債		—		—	—	△ 14,685,803
流動負債合計						36,719,249
2 固定負債						
設備資金借入金	独立行政法人 福祉医療機構	—		—	—	3,168,000
固定負債合計						3,168,000
負債合計						39,887,249
差引純資産						367,705,041



瑞穂町 福祉作業所

平成22年4月より武蔵村山市の隣町である自然豊かな瑞穂町の指定管理者として「瑞穂町福祉作業所さくら」(就労継続支援B型・定員30名)の運営を行っています。元気に明るく利用者・職員で力を合わせて日々の作業に従事しております。

開所し9年が経過し2020年のオリンピックイヤーには10年の節目を迎えます。

利用者の特性や、好み、技能等に合わせた、適切な作業支援が提供できるよう、様々な作業を設け、余暇活動支援と組み合わせる中で、日中活動の充実を図っています。

施設内作業は協力業者から頂いている箱折・自動車部品組立・衝緩材組立を中心に行っています。今回は施設外作業として瑞穂町と請負契約を締結し多岐に渡る施設外就労を紹介したいと思えます。

①みずほリサイクルプラザ 選瓶作業

町内で収集された瓶を色分けし、再生可能資源としてリサイクルの促進を行っています。ベルトコンベヤーで流れてくる様々な瓶を選別し色分けされたブラス毎に処理していく作業です。瓶に付属しているキャップ部分(プラスチックや金属)も工具を駆使して取り外し、流れてくる瓶の選別も行う為、一時も目が離せない、大変な作業です。



②公園等管理委託 (かすが公園・若草公園)

公園の維持管理を行っています。春先から秋口にかけては雑草、秋口からは落ち葉があつと

いう間に公園全体を覆いつくしてしまう為、小まめに出向き除草・清掃作業に励んでおります。地域の行事や近隣の子供達も多く訪れることから安全かつ健全な遊び場所を提供出来る様に努めています。



③瑞穂斎場周辺美化

斎場周辺の徒歩で全長5km程度を2時間かけてゴミ拾いをしています。タバコの吸い殻、空き缶、弁当の容器等、作業終了時にはビニール袋がパンパンになる

程、捨てられています。そんな、悲しい現状もありますが、作業中に近隣の方から感謝の気持ちを伝えられる事も多く、利用者・職員も奮起して頑張っています。



④瑞穂斎場内除草作業

斎場内の除草作業を中心に行っていますが、春先はさくらの季節で斎場の正門前の景色は圧巻です。しかし、無情にも花びらは舞い散る為、全力で自然と戦っています。



⑤町民農園トイレ清掃

施設の裏手にある町民農園に設置されているトイレ清掃を週1回程度行っています。

四季折々の野菜の収穫に合わせて来園者も多く、トイレを利用する方が多くなります。

来園者の方々が気持ちよく利用できる事を心掛け、気持ちを込めて清掃しています。



新人紹介

みなさんよろしくお願ひしま〜す！！



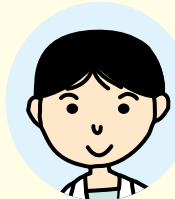
■2月より勤務させて頂いております。施設長をはじめ先輩の職員の方々に助けられ、充実した日々を送らせて頂いております。ご利用者様の就職したい！という思いを大切に、私も一緒に頑張っていきたいと思っています。

セルフあかつき
齋藤しのぶさん



■8月より勤務しています。上司や先輩に色々と教わりながら、早く吸収して仕事を覚えたいです。今後とも宜しくお願い致します。

セルフあかつき
細川 大貴さん



■4月から入所しました。日々の訓練を頑張っています。これからも訓練を頑張っていきます。

セルフあかつき
S・Nさん



■3月から入所しました。セルフあかつきでいろんなことを学んでいきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

セルフあかつき
辻本美登勢さん



■5月から入所しました。自分は巨人軍とB2の大ファンです。ほかにもスターダストの音楽やきんトレや電車などが好きです。とくいな事はえきののりかえと高い声ができることやえいようについてくわしいことです。話をすることが好きなので、きかると話しかけてください。これからみなさんのみほんになり楽しくおもしろく作業していきたいと思います。よろしくおねがいします。

セルフあかつき
大木 優弥さん



■安全第一で仕事をしています。又、不慣れな仕事も職員皆さんのアドバイスで頑張っています。よろしくお願ひします。

趣味：ゴルフ 神輿 畑

授産所 送迎
竹嶋 文夫さん



■23年ぶりの仕事であかつきコロニーに入りました。作業の皆様は一人一人とても素敵なものをもっていると感じています。私も何か一つ誇れる事を見つけて行きたいと思っています。

授産所 給食部
田村 小織さん



■北岡大輝です。ぼくはディズニーが好きです。よろしくおねがいします。

作業部3課
北岡 大輝さん



■2月より勤務させて頂いております。思いがけない事や悩む事もありますが職員の皆さんの言葉や利用者さん達の笑顔に励まされています。

作業部3課
比留間純世さん



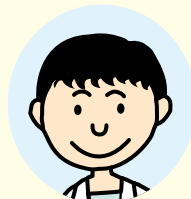
■今年の2月より作業部1課で勤務させて頂いております。所長をはじめ、先輩の職員の方々に教わりながら充実した日々を過ごしています。どうぞ宜しくお願い致します。

作業部1課
松本壮一郎さん



■まだ、入ったばかりですが、仕事もなれてきたので、これからも頑張ります。

作業部1課
乙幡 涼太さん



■今年の3月初めに入りました。日ごろ色々和有り難うございます。皆様には、たいへん感謝する次第でございます。今後、頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

スペースまどか
山本 雅英さん



■5月からまどかに入りました。なかなか慣れない事ばかりですが少しずつ慣れるよう頑張りたいです。よろしくお願い致します。

スペースまどか
菅原 好美さん



■2月1日からさくらで働いています。作業の箱折は楽しいです。不良品を出してしまうと辛いですが、頑張っていきたいです。

さくら
佐々木義規さん



■4月から福祉作業所さくらで働かせていただいています。慣れないこともありご迷惑をおかけしますが、皆さんと楽しくお仕事できるよう頑張ります。よろしくお願い致します。

さくら
山崎 茉莉さん

主な事柄

1月

7 新年会 (法人施設)
武蔵村山市長挨拶

12 瑞穂町賀詞交換会 (高橋)
保護者会 (高橋・永井・遠藤)

17 保護者会 (あゆみタイムケア)
保護者会 (あゆみ地活) (授産所)

2月

1 トラック協会交通安全講習会 (セルプ)
JCOMテレビ撮影 (法人施設)

3月

9 のぞみ祭り (森田・田中)
虐待防止マネジャー会議
第三者評価フィードバック (授産所)

19 第三者評価フィードバック (セルプ・まどか)
虐待防止委員会
評議員選任・解任委員会

22 評議員選任・解任委員会
25 評議員選任・解任委員会

4月

16 QMS 更新審査 (授産所一課 17日迄)
保護者会 (あゆみタイムケア)
保護者会 (あゆみ地活)

5月

18 春季レク (法人施設)
22 監事監査
保護者会 (さくら)

23 村山特別支援校見学来所 (法人施設)
31 理事会
春季レク (さくら)

6月

16 瑞穂町ふれあい運動会 (さくら・あゆみ)
20 評議員会・理事会

7月

12 保護者会 (授産所)
虐待防止マネジャー会議 (法人施設)
23 地震避難訓練 (さくら)

出張・研修

1月

15 武蔵村山市相談支援部会 (神山)
就労定着支援連絡会セミナー (大庭)

21 多摩地区障害者就労支援事業連絡会 (富田)
瑞穂町生活部会 (高橋)
発達障害講習会 (藤澤)

29 瑞穂町就労部会 (戸村)
31 ゼンコロ運営委員会 (遠藤 2月1日迄)

2月

5 東社協総会 (永井)
6 瑞穂町地域保健福祉審議会 (五十嵐)
8 権利擁護・苦情対応研修 (永井・小俣)

12 瑞穂町自立支援協議会 (高橋・戸村)
13 武蔵村山市日中活動部会 (永井)

14 武蔵村山市自立支援協議会 (高橋・利根川・富田)
障害年金研修 (日野・田島)
WIIJ理事会 (高橋)

15 任意の会 (戸村・大野)
17 発達障害講習会 (藤澤)
羽村特別支援校運営連絡協議会 (西出)

18 北多摩西部施設連絡会 (高橋)
20 障害雇用連絡会議 (戸村)
職業スキルアップ研修 (田島 21日迄)

21 瑞穂町社福法人連絡会・全大会 (高橋)
25 KURUMIRU 事業者説明会 (永井・田中)

26 マーレ購買説明会 (永井・山本)
瑞穂町就労部会 (戸村)
ゼンコロ理事会・総会 (高橋・遠藤)

28 都就労支援関係機関意見交換会 (戸村・大野)
高次脳機能障害講演会 (富田・小林)

3月

1 ゼンコロ総会 (遠藤)
12 災害活動相互応援協定締結施設連絡会 (遠藤)
13 就労定着支援連絡会セミナー (西出)

16 知的発達障害部学習会 (西出)
18 瑞穂町自立支援協議会 (高橋・戸村)

19 瑞穂町生活部会 (高橋)
武蔵村山市相談支援部会 (神山)

25 武蔵村山市はたらく部会 (利根川・富田)
精神医療地域連携連絡協議会 (遠藤・藤澤)

11 ゼンコロ運営委員会 (遠藤 12日迄)
武蔵村山市はたらく部会 (富田)

13 じゅさんれん事業所見学会 (熊谷・遠藤)
16 武蔵村山市相談支援部会 (神山)

17 瑞穂町生活部会 (高橋)
24 武蔵村山市日中活動部会 (永井・小俣)

17 武蔵村山市自立支援協議会 (高橋・富田)
21 東社協総会 (永井)
武蔵村山市相談支援部会

6月

4 障害者就業支援基礎研修 (小林 6日迄)
6 ゼンコロ理事会・総会 (高橋 7日迄)

7 精神保健研修 (大庭)
多摩就労支援ネット会議 (富田)

7 精神就労定着連絡会 (日野・田島)
8 社会福祉主事スクーリング (田中 12日迄)

13 セルプ研究大会 (長沼)
精神保健研修 (大庭)
北多摩西部施設連絡会 (五十嵐)

18 武蔵村山市相談支援部会 (神山)
武蔵村山地域生活拠点検討会 (神山・小俣)

19 羽村特別支援校運営連絡協議会 (西出)
任意の会 (大野)

21 多摩就労支援連絡会 (戸村)

25 お伊勢の森運営協議会
(熊谷)

障害者雇用連絡会議

26 武蔵村山市日中活動部会
(戸村)
都就労支援関係機関意見
交換会
(永井・小俣)
(戸村・大野)

7月

2 瑞穂町自立支援協議会
(高橋・戸村)

3 高次脳機能障害研修
(増淵・松本・加藤)

12 精神保健研修
(大庭)

武蔵村山市はたらく部会

16 武蔵村山市相談支援部会
(神山)

武蔵村山地域生活拠点検
討会
(神山・小俣)

17 瑞穂町生活部会
(高橋)

ハローワーク出張講座

失語症講座
(田島)

22 サビ管更新研修
(利根川)

22 瑞穂町社福法人連絡会・
部会
(山田・日野)

23 ゼンコ先進進事業事例調査・
草むらの会
(藤澤)

24 サビ管更新研修
(藤澤)

25 虐待防止研修
(小俣)

26 瑞穂町社福法人連絡会・
全大会
(高橋・戸村)

ハローワーク就職準備講座
(富田)

虐待防止研修
(小俣)

寄贈

2月1日、トラック協会様よりクオカード、ラベルライターの寄贈を頂きました。謹んで御礼申し上げます。

助成事業完了のお知らせ

◇この度東京善意銀行を通じ、公益財団法人特別区協議会様より助成金の交付を受けて左記の事業を完了しました。謹んで感謝の意を表します。

事業名：草抜き型一式購入事業
事業総額：201,376円
助成金：150,000円
施設名：あかつき授産所

◇この度社会福祉法人東京都共同募金会様より配分金を受けて左記の事業を完了しました。謹んで感謝の意を表します。

事業名：レーザー加工機整備事業
事業総額：250,560円
配分金：180,000円
施設名：瑞穂町福祉作業所

事業名：防災用品購入事業
(大型炊き出し器、ヘルメット)
事業総額：318,276円
配分金：130,000円
施設名：あかつき授産所

入所・退所

入所

2月 齋藤しのぶ(セルプ)

松本壮一郎(授産所)

田村 小織(授産所)

比留間純世(授産所)

佐々木義規(さくら)

辻本美登勢(セルプ)

竹嶋 文夫(授産所)

山本 雅英(まどか)

西坂 直(セルプ)

北岡 大輝(授産所)

宇佐美真理(まどか)

山崎 茉莉(さくら)

小池 志織(あゆみ)

大木 優弥(セルプ)

菅原 好美(まどか)

乙幡 涼太(授産所)

細川 大貴(セルプ)

退所

1月 涌井 伸吾(セルプ)

竹内 恵子(授産所)

関田 信弘(さくら)

福士 瑞木(瑞穂就労)

米倉 正人(授産所)

高橋 一也(セルプ)

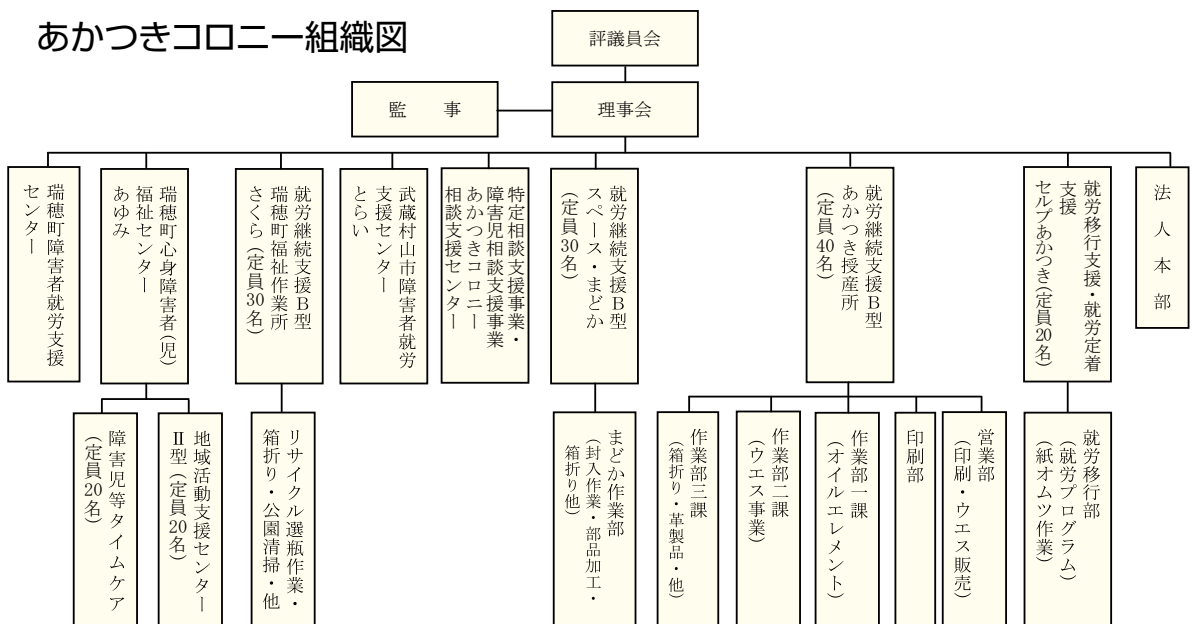
山下 樹(授産所)

堀之内勇志(さくら)

井出 幸司(授産所)

新庄 弘典(さくら)

あかつきコロニー組織図



役員・評議員

理事

理事長

常務理事

監事

評議員

前崎 一郎

小峯 邦明

浅川 勤

川崎 忠正

栗原 康明

岩瀬 香世

赤澤 正補